

イレウス(保存的治療目的)を受けられる患者・ご家族の方へ ー入院診療計画書ー 平成 年 月 日

病棟 号室 患者氏名 様
 主治医 担当看護師 担当栄養士

経過	(月日) 入院時	(月日～月日) 入院2～4日目	(月日～月日) 入院5～7日目	(月日) 入院8日目	(月日～月日) 入院9～12日目	退院日 入院13日目
患者目標	入院の必要性・治療の必要性が理解ができる 転倒・転落について理解できる	高圧酸素療法にて、副作用がない 腹痛・嘔気等がない	高圧酸素療法にて、副作用がない 腹部の痛みや張りがありません	透視結果にて、飲水を開始できる 嘔気等なく、食事開始できる	食事を問題なく食べる事ができる 排便コントロールを図れる	退院後の生活について理解できる
1、検査 処置	日常生活の様子を教えてください 鼻から胃へのチューブを入れる場合があります 高圧酸素療法を行いません	3日目に採血・腹部レントゲンがあります 	6日目腹部のレントゲンがあります 	透視にて、腸の流れを調べます		
2、点滴 内服	点滴を始めます 今まで飲まれていた薬を確認します 		高圧酸素療法は終了です	透視結果が良ければ水分が始まります	9日目点滴は終了となります	
3、食事	食べたり、飲んだりできません 			水を飲んで吐き気等なければ3分粥から食事が始まります	1日ずつ食事は固くなります 	
4、排泄	便を確認します (流さずコールしてください) 尿の量を調べます 		尿を貯めるのは終了です			
5、清潔	体を拭きます 	2日目からシャワー浴ができます				
6、安静度	自由です					
7、患者さん 及びご家族 への説明、 指導	入院オリエンテーションを行います 主治医より高圧酸素療法の説明があります 看護師より、高圧酸素療法の注意点・尿を貯める方法の説明があります 				状況に応じて退院の許可が得られます 	午前中の退院となります 請求書をお持ちします 1階会計窓口にてお支払ください 退院前に栄養指導があります

川内市医師会立市民病院 外科 2011.9月作成

注1 病名等は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

注2 入院期間については現時点で予想される期間です。

上記について説明を受けました

平成 年 月 日

患者・家族署名: _____

説明者署名: _____